

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成25年7月26日			
所属学部・研究科	総合科学部 4 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	オークランド大学 (国名: ニュージーランド)			
所属学部・学科等名				
在籍身分				
留学期間	平成25年2月22日～平成25年7月25日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: ニュージーランド大使館			
	取得方法, 提出書類: 東京のニュージーランド大使館に必要書類を送付し、審査に付してもらおう。提出書類は、所定の申請用紙(大使館のホームページでダウンロード可)、パスポート、健康証明書類、滞在日数に応じた銀行の残高証明書、写真など。			
	手続きに要した日数: 申請からビザが送られてくるまでは3週間ほど。			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成25年2月22日			
経路	成田空港から直接オークランド空港へ			
現地での出迎え	空港から大学の送迎あり			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	一週間ほど留学生を対象にした、オークランドでの生活や、大学に関するオリエンテーションあり			
帰国年月日	平成25年7月25日			
経路	オークランド空港から直接成田空港へ			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	諸経費合わせると100万円弱程か	円	
	内訳	渡航費	約21万	円
		保険料	約2万	円
		教科書代(学費)	約4万	円
		宿舍費	約30万	円
		食費	約20万	円
		その他 (費)		円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
1年 前期	3 月 3 日	～	7 月 10 日	

年 学期	月 日 ~ 月 日		
年 学期	月 日 ~ 月 日		
年 学期	月 日 ~ 月 日		
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	一つの科目につき週一回ずつ講義と、少人数での議論を主としたチュートリアルがセットになっているのが基本。中間テスト、小論文提出、期末テストがある。授業は一回60分だが、準備のための課題読書が毎回課されるのが特徴。		
単位互換希望の有無	無し		
学術面に関する後輩へのアドバイス	課題読書が多いのでそれを早めにこなすこと		
4. 生活等について			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	アパート(風呂・トイレ・キッチン共同)		
住居の広さ	共同部分以外の一人部屋は六畳ほど	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス (キッチンは電気式) <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり 700ニュージーランドドル(現地通貨)(光熱費は家賃に含まれている)	約	6万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インターネット)		
留学先での住居全般に関するアドバイス	ルームシェアが一般的で一人部屋は学生では少数派。一人部屋だと家賃は広大周辺のアパートに比べて高い。ホームステイは一概には言えないが、数人に聞いた話では、家の人からぞんざいに扱われるケースも多いらしく、プライバシーも少ないらしい。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する病気・怪我等を	しなかった		
入院した場合	により 日入院		
留学に当たり保険を	掛けた		
掛けた場合	オークランド大学指定の保険		
掛け金は	年間 四万円ほど	補償額 死亡	円, 入院1日 円
	その他 ()		
留学前後での予防接種の必要の有無	なし		
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名			
日常的な健康について不安が	なかった		
留学先国の医療事情 (日本と比較して)			

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	紫外線対策のためサングラスを着用した方がいいかもしれない	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特になかった		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
物価は安いと言われているが、スーパーで買い物をするときなど、現在の1ドル80円前後では高く感じるかもしれない。レストランや喫茶店でのメニューなども比較的高い。アルバイトは学生ビザでは一年以上の滞在でなければできないが、最低賃金は自給約13ドルと結構高いのでアルバイトをする留学生は多かった。ただ日本人は英語力が高くなければ、たくさんある日本食レストラン以外で雇ってもらえるケースは少ない模様。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 年 月 (当初の卒業予定年月 平成 年 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等		
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
大使館サイト	http://www.nzembassy.com/	ビザの取得、その他のニュージーランド基本情報
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学までいろいろな書類を集めたり、TOEFLを受験したりと結構煩雑です。		

学習の概要に関するレポート

まず英語力に不安がある人のために、オークランド大学で英語のサポートセンターを開いているので、推薦したい。そこでは、テーブルを囲んでラフな雰囲気職員のかたや他の学生と会話をすることができ練習になった。他にも、英語の学習に役立つ本やDVDの貸し出しも行ってた。

授業は、一つの授業ごとに、週に一度ずつ、講義室での講義と、少人数で集まって課題図書について議論するチュートリアルがある。留学する前に日本で受けるTOEFLのリスニングを参考にすればわかると思うが、まさにあんな感じで授業が行われていた。テストは中間テストと期末テスト、その間に小論文の提出があり、ほとんどの授業でこの形式がとられている。チュートリアルのための課題図書の量は一度に平均して20ページほどだった。学習教材は大学付属の本屋で買えるようになっているが、かなり高いので、図書館で必要な部分だけコピーしている学生も多かった。

授業では、パソコンを持ち込み、それでノートをとったり、わからないところを、ネットで調べたりしている学生が多数派だった。

オークランドは多民族の街で、先生たちの人種も多様で、それぞれ英語の聞き取りやすさがかなり違っていた。僕の実感ではイギリスや、中東、アジア系の先生は聞き取りやすかったが、ニュージーランドの先生の英語はわかりにくく、最後までよく分からなかった。ほかの留学生に聞いてみると、同じような感想を抱くらしいので、理解できるまでに時間がかかるかもしれない。

大学以外での英語の学習で推薦したいのが、教会での集まりで、ここではゲームや雑談などを楽しみながら英語のレベルアップができる。教会はいくつかあって、どこでもそういった会を週に一度開いていて、他の留学生、日本人オークランド滞在者の間でもかなり評判がよく多くの人利用していた。また、僕は利用しなかったが、学生が開いている、留学生の英語サポートサークルのようなものもあるので利用するといいかもしれない。

生活の概要に関するレポート

オークランド大学は空港から二十キロほどの都心部にあり、最初は大学付近の YHA というバックパッカー向けのホステルに半月ほど滞在した。ここは四人部屋で、シャワーやキッチン、トイレなどは共同で、一日約30ドル。オークランド大学も推薦している場所で、大学の寮に入らず、オークランドに来てから自分でアパートやルームメートを探したいという場合にはいいかもしれない。

到着した時にニュージーランドは夏で、気温は高いが、空気は乾いているので快適に過ごせる。夜は少し冷えるので、シャツやカーディガンなどが必要かもしれない。ちなみに冬は、コートやマフラーなどが必要。

ホステルを出ると、インターネットでアパートを探し、そこに移った。大学から徒歩でいける距離にあり、部屋は一人部屋で、シャワー、キッチン、トイレなど共有で、一週光熱費込で一週間170ドル。一人部屋だとこの値段でかなり安い方なので、全体的に言ってオークランドの家賃は広大周辺より高い。なのでルームシェアが学生では主流といえる。ルームメートは自分で探すほかはインターネットでも募集している。ちなみにホームステイは、オークランド周辺だと、食事つきで週200ドル前後が相場。(家賃などは週計算がほとんど)敷金はほとんどのアパートなどで、3~4週間分ほど。敷金返還に関するトラブルが多いそうなので、部屋を借りたときの状態を写真でとっておくことがすすめられている。

僕がいたアパートは部屋以外共同なので、ほかの学生やニュージーランドの人と情報交換が進んでよかった。また英会話の練習もできたので、共同のアパートにするメリットはあると思う。オークランドは多民族の街なので、ニュージーランド人以外にも、中国人や韓国人などのアジア人、中東や南米からの人と知り合う機会は多い。

物価については、スーパーなどで買い物をすると日本とそう変わらないと思うが、円安もあり、少し高く感じられた。買い物はオークランドでは、コンビニエンスストアやスーパーなどが充実しているのでそんなに心配はいらない。日本食料理店や日本食料品店も何か所かある。レストランではほとんどのメニューが十ドル以上と高く、留学生はほとんどの人が自炊をしている。

娯楽は、都心部では映画館や、買い物、バー、カフェ、美術館・博物館などが充実している。また自然公園が、都心を少し離れると多くあり、そこでリラックスしたりジョギングしたりする人も多い。バスや電車など公共交通機関も多く走っているので、それらを利用して離れた場所にある海岸や、山にトレッキングに行ったりするのもいいかもしれない。

また何か所かある教会で週に一度、一二時間ほどの集まりを開いているので、英会話の練習に役立つし、食糧も分けてもらえるので推薦したい。